

北海道の明日を創る人材の育成確保事業

本道の基幹産業である「観光」と「食」、関連産業の裾野が広く雇用創出効果の高い「ものづくり」、地域経済を支える「建設」などの分野における人手不足の現状に対応し、地域のニーズに基づく人材の育成・確保を図ることにより、地域産業を振興するとともに、本道経済の好循環を実現させる。



北海道地域人材育成協議会 (初年度 200 千円)

北海道観光を支える人材の育成・確保事業

(初年度 71,660 千円)

- 貸切バス**
有効求人倍率＝ 自動車運転手 1.70 倍
→ 乗務員の育成・確保につながる速効性のある対策と、若年層への働きかけといった中長期的な対策が必要
- 宿泊業**
有効求人倍率＝ 給仕・接客 2.07 倍
→ 若年従業員の職場定着支援や、新卒者や留学生を含む若年求職者の宿泊業への就職促進が必要

ものづくり人材育成事業

(初年度 18,751 千円)

- ものづくり人材**
有効求人倍率(苫小牧地域)
＝ 金属加工・溶接溶断工 3.71 倍
製造業の正規雇用率
＝ 73.5%と低い状況
→ 地域における機械・金属系の技能者不足が深刻
→ 道立苫小牧高等技術専門学院では、機械金属加工系訓練科目を見直し、平成29年度に2年制への移行を目指した訓練体制の再編に取り組んでおり、これに呼応した取組が必要

自動車整備士及び建設関連人材育成事業

(初年度 12,476 千円)

- 自動車整備士**
全国的に不足で、国と業界団体も対応
→ 非正規雇用から正規雇用への転換を含め、民間教育訓練機関を活用した取組が必要
- 建設関連人材**
有効求人倍率
＝ 型枠大工・とび工 4.86 倍
大工・左官 1.90 倍
→ 高校生などに向けた建設業の魅力アピールするとともに、公共訓練の一層の活用が必要

北海道の食品製造業を支える人材育成事業

(初年度 36,339 千円)

- 職種別の求人倍率**
加工製造を行う生産工程 1.21 倍
マーケティングを行う販売 1.11 倍
- 低い付加価値率**
北海道 29.4% (全国 35.0%)
- 生産工程**
・人材不足による品質管理に課題
→輸出も視野に入れ、HACCPに精通した人材の確保が急務
- マーケティング**
→輸出も含め多様なニーズに対応できる人材の確保が必要

人手不足の状況と課題

事業内容

効果 (初年度アウトカム)

- 観光人材育成確保検討委員会
- 貸切バス業の人材育成確保
 - ①貸切バス乗務員職業セミナー
 - ②雇用型バス運転手育成確保事業 委託
 - ③貸切バス乗務員在職者スキルアップセミナー 委託
 - ④貸切バス企業管理者リーダー研修 委託
- 宿泊業の人材育成確保
 - ①宿泊業インターンシップ事業 委託
 - ②宿泊業合同企業説明会
 - ③新入社員・派遣社員合同研修 委託
 - ④遠隔地外国語研修 委託

- ものづくり人材育成検討委員会
 - ものづくり訓練事業
 - ・正規雇用を希望する求職者、非正規労働者、高校在籍生を対象とした訓練を実施
 - ・企業ニーズを踏まえた訓練内容を検討
 - ・非正規労働者を考慮し、夜間に訓練
 - 就職支援事業 委託
 - ①キャリアコンサルティング
 - ②合同面接会
- ※苫小牧市が実施する人材確保事業や就業支援事業と連携

- 自動車整備士育成事業
 - ①検討委員会
 - ②アンケート・ヒアリング調査
 - ③業界紹介セミナー開催 委託
 - ④業界紹介小冊子作成 委託
- ※2年度目以降
 - ・専修学校等における資格取得支援
- 建設関連人材育成事業
 - ①検討委員会
 - ②ヒアリング調査
 - ③業界紹介セミナー開催 委託
 - ④業界紹介小冊子作成 委託
- ※2年度目以降
 - ・在職者の技専入校による技能習得支援

- 食品製造業人材育成確保検討委員会
- 就職支援セミナー 委託
- 離職者等訓練 委託
 - ①食の安全・安心
 - ②生産工程改善
 - ③HACCP 等
- 就職マッチング
- 在職者セミナー
 - ・商品企画、生産管理、マーケティング等
 - ・HACCP
- 情報発信事業 委託

貸切バス業の人材育成確保
＝ 就職者等 25人

宿泊業の人材育成確保
＝ 就職者等 34人

正規雇用のものづくり人材
＝ 就職者 10人

就職支援事業
＝ 就職者 4人

自動車整備士育成事業
＝ 就職者 16人

建設関連人材育成事業
＝ 就職者 24人

求職者向け訓練等
＝ 就職者 36人

就職マッチング事業
＝ 就職者等 28人

